和歌山県　資料提供
令和８年11月18日

知らないオドロキが色々色々
聖地リゾート!!!!! Seichi Resort WAKAYAMA
和歌山

令和８年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者の決定について

令和８年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者が決定されましたので、お知らせします。

１　令和８年度本県被表彰者

氏　名	住　所	分　野
まつやまかおる 松山馨	和歌山市	短歌
こかわまつりほぞんかい 粉河祭保存会	紀の川市	民俗文化の継承

※功績等詳細は別紙のとおりです。

２　表彰の趣旨

全国各地域において、芸術文化の振興、文化財の保護や継承に尽力する等地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰します。

３　表彰式

(1) 日　時　　令和８年11月25日（水）15時30分～17時20分

(2) 場　所　　京都府立府民ホール　アルティ
（京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590－１）

（連絡先）	
担当課	松山馨様の表彰に関すること 企画部　企画政策局　文化学術課
担当者	青木　073－441－2050（内線 2060）
担当課	粉河祭保存会様の表彰に関すること 教育庁　生涯学習局　文化遺産課
担当者	新田　073－441－3730（内線 3736）

令和８年度　地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者について

まつやまかおる
氏　名　松山　馨
生　年　昭和５年
現住所　和歌山県和歌山市

氏は昭和５年和歌山市にて生まれる。昭和 23 年和歌山県立和歌山高等女学校を卒業後、和歌山県職員として勤務。25 歳の時に「和歌山短歌会」を結成。その後、結婚、退職し主婦として家族を支える傍ら、一貫して短歌の創作活動に精励する。『万葉集』、『古今和歌集』に代表されるように、古くから人々は、五、七、五、七、七の三十一文字からなる短歌に様々な心の模様を託してきた。氏は、昭和 30 年以来、『花籠』、『春暁』、『城のほとり』、『序破急』、『動線』と自身の作品を歌集として世に出しているが、それらを構成する一首一首が氏の心の内を実直に情愛豊かに詠い上げるものとなっている。若き日の瑞々しい感情、戦時中の記憶、夫・姑への愛情と離別の悲しみ、それらすべてに通底する故郷和歌山への思いなど、歳を経るごとにその歌は円熟味を増し、氏の短歌に対する並々ならぬ情熱を感じさせる。その作風が評価され歌集『動線』は日本歌人クラブ近畿地区優良歌集賞を受賞している。

また、氏は和歌山短歌会の代表として、昭和 30 年の結成より現在に至るまで、会員達の作歌能力の向上に力を注いでいる。同会の会誌『さわらび』（前身『わかやま短歌』）は昭和 49 年の創刊以来、現在まで、氏の指導のもと約 50 年間一度も休むことなく年２回の発行が続けられている。

さらには、氏の短歌の普及活動は同会に留まらず、昭和 60 年から平成 30 年まで毎日新聞の紀州歌壇選者を務めたほか、和歌山県歌人クラブ会長、同名誉会長、和歌山文化協会文芸部長、和歌山刑務所篤志面接委員、日本歌人クラブ近畿地区ブロック委員等、様々な立場から短歌を愛する同志を増やし育ててきた。

70 年以上の長きにわたり情愛を持って短歌に精励し、後進を育成し続ける氏の活躍は、和歌山県における短歌の普及、向上発展に大きく貢献するものであり、その功績は誠に多大である。



※ 下記アドレスにご連絡いただければ、写真データをメールで送信させていただきます。

aoki_m0011@pref.wakayama.lg.jp　担当　和歌山県 企画政策局 文化学術課 青木

令和８年度　地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰団体について

団体名　粉河祭保存会（こかわまつりほぞんかい）
設立年　昭和 38 年
現住所　和歌山県紀の川市

「粉河祭」は、和歌山県紀の川市粉河に所在する西国三十三所三番札所の粉河寺の鎮守社でもある粉河産土神社の夏の祭礼として毎年７月最終土日に行われる。本祭礼は、創始が平安時代まで遡るとされ、本県那賀地域では最大規模を誇る。

本祭礼の特色は、中世以来、粉河寺周辺の村々を中心に組織される宮座や講が祭礼の役割を分担し、神輿の渡御行列に各座・講の使いとして馬長稚児等を供奉させる「渡御式」と、江戸中期以降に粉河寺門前町で発展した粉河だんじりの行事という時代の異なる要素が一祭礼に併存するという珍しい形式を保つことである。

保持団体である粉河祭保存会は、これら奉納芸能の保存･継承を 60 年以上にわたって取組みを行ってきた。同保存会では、本祭礼を永く後世に伝承するために、同社と氏子有志とともに、毎年の祭礼の運営や調整、伝承の普及、後継者育成などに努めている。

また、同保存会の活動は、文化財である伝統行事の本祭礼に地元の小・中学生や若者が多数参加することによって地域文化の担い手づくりだけでなく、本県の伝統文化の教育普及及び地域振興にも大きく貢献をしている。



（渡御式）



（だんじり行事）

※下記アドレスにご連絡いただければ、写真データをメールで送信させていただきます。

nitta_h0003@pref.wakayama.lg.jp　担当　和歌山県教育庁　生涯学習局　文化遺産課　新田